

小田原市健康増進計画策定委員会（第1回） 会議録

日 時 平成23年8月24日（水） 午後1時から午後3時20分まで

会 場 小田原市役所3階・全員協議会室

出席者

◆委員

市川昭維子委員、市川裕之委員、江島委員、太田委員、小木委員、金沢委員、  
木村委員、窪田委員、斎藤委員、杉崎委員、鈴木哲夫委員、鈴木秀雄委員、  
田中委員、分部委員、渡邊委員 15名

欠席

相田委員、秋山委員、山本委員

◆加部副市長

◆事務局

【福祉健康部】 清水福祉健康部長、奥津福祉健康部副部長

【健康づくり課】 杉崎健康づくり課長、磯崎保健医療係長、青木成人保健係長  
井澤成人保健係長、林母子保健係長、澤口主査、盛田主事

傍聴者 なし

会議内容

- 1 委員委嘱式：加部副市長より各委員へ委嘱状の交付
- 2 加部副市長あいさつ
- 3 委員及び職員の紹介（委員は自己紹介、職員は福祉健康部長より紹介）
- 4 議事

※委員長選出までの間、福祉健康部長が仮議長として進行

- (1) 小田原市健康増進計画策定委員会について

・健康づくり課長、資料1・2に基づき、委員会の設置要綱、会議傍聴要領等について説明

- (2) 委員長及び副委員長の選出について

・互選により、江島紘委員を委員長に、渡邊清治委員を副委員長に選出。

※休憩をはさみ、以下の議事について、委員長が進行

- (3) 小田原市健康増進計画について

・健康づくり課長、資料3・4・5に基づき、小田原市健康増進計画の策定するに当たっての法的な根拠、国の健康増進を図るための基本方針、神奈川県健康増進計画について説明

・健康づくり課長、資料7に基づき、小田原市健康増進計画（案）の目的、期間、計画位置づけ、計画策定までの流れについての説明

（資料6 小田原市食育推進計画は参考まで）

[質疑なし]

- (4) 小田原市健康増進計画アンケートについて

・成人保健係長、資料8に基づき、小田原市健康増進計画アンケート（案）について、目的、調査方法、設問等について説明

[質疑]

- 委員：設問 2 5 に、その他を入れてはどうか
- 健康づくり課長：その他に自由記載ができる（ ）をつけると回答
- 委員：栄養・食育の設問に、朝食について聞いているが、孤食（一人食べ）の問いを入れてはどうか。一人で食べているか、家族と一緒に食べているか等を選択肢にする。
- 健康づくり課長：問 6 - 2 として、孤食の設問を入れると回答
- 委員長：朝だけなのか、どの食事についても聞くのかどうか。
- 委員：大きくとらえて、家族と一緒に食べることが多いのかどうかを問う設問にしてはどうか。
- 委員：今の孤食という問題は、大きな問題。孤独老人の栄養状態に大きな影響を与えているということ。子供という視点や家族一緒に食べる視点から考えてみても、アンケートに入れていただきたい。
- 委員：年齢と性別だけでなく、属性を入れたほうがよい。たとえば、家族構成など簡単にわかるものを入れる。一人暮らしの方は一人で食べているので、孤食についても整合性が図れると思う。
- 委員：問 1 6 に、ストレス解消法にジョギングやスポーツなどの問いがない。その他に入れるよりは、選択肢をふやす方向で検討してほしい。  
問 1 9 の設問は、過去なのかこれからの予定なのか。
- 成人保健係長：問 1 6 については、ほかの計画等も見ながら、○がつけやすいように検討する。
- 健康づくり課長：問 1 9 については、「ここ 1 ヶ月間で、あなたは眠るためにお酒（清酒・焼酎・ビール・洋酒）をお飲みになりましたか」に訂正。
- 委員：その他の選択肢も入れてほしいことと、問 2 1 に定期的な歯科健診とあるが、受けているかどうかは分かるが、頻度がわからない。5年に1回でも10年に1回でも健診、半年に1回、3ヶ月に1回という方もいるため。  
小田原市の歯科健診は5年に1回となっているが、我々（歯科医）は少ないのではないかと思っている。5年に1回で歯科健診はよいと思われてもいけないので、ちょうど良い区分にしてほしい。過去に年1回、年に2～3回、年に数回だとか。アンケートに答えたかたの意識やデータの活用につながるのではないか。  
項目を増やしたらよいのではないかと思うものがある。  
それは、歯と歯周病との関係。歯を失うと物が噛めなくなるだけでなく、心筋梗塞や糖尿病、高齢者の誤嚥性肺炎の問題、妊婦の低出生体重児の問題、未熟児の

問題、歯科とからみがあることが、分かってきた。こういうことを、アンケートの中にご存知ですか。という形でいれてほしい。

- 成人保健係長：問 2 1 の枝で、頻度を聞くことにし、具体的な頻度については3ヶ月に1回が理想的なのか。
- 委員：「年1回以上」といった枠でよいと思う。
- 健康づくり課長：「過去に年1回以上」といった回数で書いてもらうのか。
- 委員：「年に1回」や「年に2回から3回」など。1年に1回受けていないとなると定期健診ではないので、「受けていない」という項目でよい。
- 福祉健康部長：定期的で（ ）括弧年に1回以上とか
- 委員：「年に1回」や、あるいは、「年に2～3回」
- 福祉健康部長：「はい」か「いいえ」で答えられるほうがよいので、「定期的（年1回以上）歯科健診を受けているか」ではどうか。
- 副委員長：2000人の調査で、特定の項目に特化してもいけないのでは。
- 委員：歯と歯周病のことを知っているかどうかを聞きたい。啓発として。
- 委員：問 2 1 - 2 で「いいえ」と答えた方についての設問は、そのままよいのか。
- 福祉健康部長：事務局としては、年齢も特化しないで、なるべく広くの対象者に答えていただきたい、2000人のうち、回答率が低くなるというのは、質問が多いと、回答率がどうしても低くなる。設問をなるべくシンプルで答えやすくすることが私どもの考え。このあたりも踏まえてご議論していただけると有り難い。
- 委員：設問を多くしないほうがよいのであれば、問 2 3 の設問（歯の状態、選択肢本数を問う）は、厚生労働省のデータにもあることは承知しているが、この設問をどのように生かしているかが分からない。意図があれば教えていただきたい。もし特にならなければ、この設問を除いて、新しく入れるというのはどうか。
- 成人保健係長：先ほどお話したとおり、県の調査や健康日本21の調査では、目標値が出ていて、80歳以上で20本以上が目標となっている。次の議題で話をするが、歯の本数という統計がなかなかなかった。データがあるならば使えるかとも思う。確実ではないけれども、歯の本数は何本あるのかを知りたかった。平成15年の県の健康栄養調査でも入っている項目だったので入れた。それとも比較ができるかと思ったのでこの設問をのせた。

- 委員：新しい設問は、全身疾患とのつながりを知識として知っているのかを問うもの。今後の啓発活動に生かせればいいのではないかと考えている。具体的な疾患を数多く、書かなくてもよいが、今後のためにはいいのではないか。このような関係性が分かる前に、県や国の計画ができているため、今後には必要な項目ではないかと考える。新しい計画を作るのであれば、新しい情報を載せたほうが良いと考える。
- 委員：問 2 3 の設問は、年齢も関係してくる。
- 委員：アンケートに年齢や性別等を書かせる形になるのか。
  - 成人保健係長：設問をご検討いただく形だったため、このような形式になっているが、調査用紙とする際は、1 枚目のところに、年齢と性別を載せることにしている。
- 委員：小田原の地区はのせないのか。
  - 成人保健係長：回収率半分くらいなので、25 地区あるうち、数が減ってしまう。それだけとれるのか分からなかったなので、地区分けは止めた。
- 委員：せっかく実施するアンケートなので、歯周病と全身疾患についての設問を入れてもいいのではないか。これからは予防という観点からも、この設問があったからといってアンケートをやってくれないということはないのではないか。
- 委員：口の中の栄養ということで、舌にカビが生えたりすることはよくあることだが、たとえばダイエットであるとか、食べ物の偏食であるとか、タバコであるとか、大きな影響があるかと思う。世代がどの年代か調査された上で、調査の視点になるのではないかと思う。その上の 20 番のタバコからつながっているのでよいかと思う。たまたま 20 番のところで、「はい」か「いいえ」でお答えいただいた後、たばこを吸いたいというところが、お勤めされているかたであるとか、いろいろなストレスを抱えていて、生活行動になってしまうのではないか。口が一番からだに入っていくところなので、大事なのではないか。
- 委員長：このアンケート調査は、健康づくりの基礎資料とするとのことで、歯と歯周病、全身疾患について、入れたほうがよいのではないかという意見が出ているが、事務局ではどう考えるか。
  - 成人保健係長：歯周病対策は目標値にあがっているので、今の感じであれば、アンケート調査に載せられるかと思う。設問の仕方を先生にお聞きしながら検討したい。
- 委員長：設問をひとつ増やしていただくということでよろしいか。
- 委員：問 2 4 - 2 健康に自信が（あ）る（脱字）

- 委員：事務局としては、設問に枝番をつくったほうがよいと思うが、答える側としては、設問は通し番号のほうがよい。あまり答える側として考えられないで、答えてもらうほうがよい。
  
- 成人保健係長：枝番にしたのは、はい・いいえでどちらかに答えて次にすすむ形にしてある。市民のかたに答えてもらう際には、もう少し答えやすい形があると思う。もう少し分かりやすくする方法を検討する。
  
- 委員長：この場ではこのような質問が出たということでよいか。
  
- 委員：問 2 4 - 2 選択肢 2、健診場所が身近になく、億劫と書いてあるが、健診場所がないという場所の問題なのか、病院に行くのが面倒なのか、分かりにくい。2つの意味を含んだ設問になっている。
  
- 健康づくり課長：整理をする。
  
- 委員：知識や情報をどこから得ているのかという問いに、小田原市の広報であるとか入れるわけにはいかないのか、私は広報をみている。今はどんな教室があるのか知る機会を得ている。問 2 4にも関係するが、新聞・雑誌の中に、小田原市の市報をいれることを検討してほしい。  
ストレスを感じると、食べることに走ってしまうことがある。問 1 7の項目で心配ごとや悩みごとを相談する人がいるかという項目で、いいえといった項目の後で、それに続く、関連項目がない。健康の予防や健康のことについていえば、健康日本 2 1 の中では、WHO の中でも言っている心身ともに健康という部分を受けている部分がある。心も体というところで、いいえという項目にチェックされたかたは、この項目は、対象となるのではないか、9つの項目のタバコや食関係すべてにかかわっていく問題であると考える。
  
- 委員：私は、問 2 5の選択肢 3には絶対につけないと思う。「今より悪くなるのは困るが、積極的によくしたい・保ちたいと考えていない」に○をつける人がおそらく少ないと思う。
  
- 委員：先ほど出た問 1 7「あなたは心配ごとや悩みことを相談できる人がいますか」「はい」・「いいえ」だとか、はいと答えた方に、相談できる人が家族にいるとかいないとか、このあたりは事務局として何か意図があるのか。
  
- 成人保健係長：特に意図はないが、先に問 1 7を聞いてからが良いのかなと考えた。その時は、答えやすいのかと思ったので、このような形にさせていただいた。
  
- 委員長：整理をしてほしい。
  
- 福祉健康部長：重複するところがあった。問 1 5で聞いて、「はい」と答えた人が、

問17に飛ぶようにすればよいのではないかと、問15でストレスを感じていない人は、相談できる人の設問では、「いいえ」と答えると思うので。うまく整理させていただいたほうがよいのではないかと考えている。次回まで時間をいただけないか。

- 委員長：問15のところは、事務局で整理をしてもらうことでよろしいか。
- 事務局：整理する。
- 委員長：問25の3番については事務局としてはいかがか。
- 健康づくり課長：こちらの設定した項目については、県の調査を元にして入れたもの。
- 副委員長：実際、県の調査で結果はどうだったのか。
- 成人保健係長：今より少しでも健康状態をよくしたいが、46.9%、今の健康状態を保ちたいが43.4%、今より悪くなるのは困るが、積極的にはよくしたい・保ちたいと考えていないが7.1%、健康には関心がないが1%。
- 委員：3番よりは考えているし、4番には答えたくない。比べてみたいという意図があるのか？
- 成人保健係長：こちらの意図としては、絶対ということではない。事業を行っている中で、なかなか健康意識を持っていないのかと思うことが多々あり、教室を開いても、他の地域よりも参加者が少ない傾向がある。そのため、健康意識について調査をしたかった。
- 委員：積極的には考えていないというのは？○をつけがたい。
- 委員長：健康増進計画の基礎資料なので、「健康になる気持ちが多い」という結果を出さなければならない。
- 副委員長：この問題は25問で最後なので、回答者も最後まで読めているのかが疑問。油断しているかもしれない。
- 委員：健康に関心がないは1%。
- 成人保健係長：問24で選択肢の3を選んだ人は、15歳から19歳の人たちが多く、20歳代の人達6.2%、30歳が6.7%、40代が5.9%、50代が5.5%、60代や4.9%、70代は7.7%でトータルが7.1%になっているのだと思う。
- 副委員長：今より悪くなるのは困ると考えているのならば、保ちたいと考えていない

わけではない。

- 委員：矛盾しているのではないか。
- 委員：何もしない人ということ。今よりは悪くなっては困るが。
- 委員：「どうしていきたいですか」という設問なので、「考えていない」ということのほうがよいのではないか。
- 委員：単純に3番だけとってしまうということはあるか。
- 委員：よくしたい、保ちたい、だから普通があってもよい。
- 委員：よくしたい、保ちたいという人の中には、積極的な人もいれば、そうでない人もいる。
- 委員：3番は必要なのか。
- 副委員長：必要だと考えているが、今のところ何もしていない。
- 委員：関心がないのと、保ちたいとの間
- 委員：関心がないわけではないが、積極的にやっていないという意味。
- 委員：間というのも、意識的には問題ととらえられる。
- 委員：3番が中間を表す選択肢であればよいのだが、中間になっていないのが問題。
- 委員：今より悪くなるのは困るが、特に考えていないではどうか。
- 委員長：難しい設問。健康状態をよくしたい、今の健康状態を保ちたい、今より悪くなるのは困るというのは、考えているということなので、複雑な言い回しになってしまう。それと、健康には関心はないという状態。表現によってずいぶんとかわってきってしまう。
- 委員長：ここでは、なかなか結論がでないので事務局で、もう一度表現を変えていただく方向で考えていただきたい。
- 委員：この選択肢を残したいのであれば、今の健康状態を保ちたいのと、今より悪くなるのは困るというのは、同じ意味だと思うので、頭の部分をなくしてしまい、「特に考えていない。」としては。

→ 健康づくり課長：こちらで少し考えてさせてもらいたい。

○ 副委員長：問18のところで、清酒の換算係数は知っている。補足したほうがよいのではない。

○ 成人保健係長：補足する。

○ 副委員長：問20のタバコの本数を聞く選択肢が多すぎる。問18の選択肢で7のほとんど飲まないは、飲まないで言い切ってしまうてよいのでは。その下のところでは、1合未満であれば、ほとんど飲まないということになるし、いっぱい飲むか、ふつうに飲むかのちがいだと思う。4合以上飲むかどうか、下のタバコのほうでも、ほとんど吸わないという人は、5本未満。後は、20本以上吸っているか、そのあたりで分ければ、内容としてはよいのではないか。

○ 成人保健係長：はっきりしないが、3合以上のような気がする。

○ 副委員長：3合5年が常習飲酒者。5合10年が大酒のみ。

○ 成人保健係長：どこで切るかということは、他と合わせるが、飲まないか、ふつうか、よく飲むか。設問をもう少し考える。

○ 委員長：アンケートの内容についてたくさんと意見が出たが、他に意見は？

○ 委員：「あなたは食育に関心がありますか」というところで、「食育」という言葉を知っている人もいるかもしれないが、若干説明があったらどうか。

○ 委員長：食育という言葉が、関心があれば、説明する必要がないということだが、そうでないならば、補足する必要があるのではないか。

→ 成人保健係長：そのこと自体が「わからない」という回答で良いと考えている。補足説明は、こちらのほうとしては、必要なしと考えている。

○ 委員長：このことについては、なしということ。

○ 副委員長：このアンケートには、入っていないが、脳卒中の死亡率がワースト1、特に血圧に関してだが、どういう関心があるか聞いてほしいなと思う。たとえば、血圧が高いということであれば、「関心がある」か「ない」かだとか、血圧が高かった場合、積極的に治療するかどうか、気持ちがあるかどうかなど。

診療していて、血圧が高いことは一番危ないのだから、血圧が高いという一生血圧の薬を飲まされるような、一昔前の薬のイメージがあるが、良い薬が開発されていることもある。一つだけでよいので入れてもらえないか。

- 福祉健康部長：副委員長から言われたのは、ごもつともで、いろいろな計画をつくる中で、小田原らしさを出していきたいと考えている。健康増進計画に小田原らしさを出す際に、脳卒中の問題がある。先生と相談させていただきながら、よければ入れさせていただきたいと考えている。
  - 委員長：脳卒中の問題は、医師会も力を入れているとのことですが、いかがか。もし皆様の方でお気づきの点が出てきた場合、どのようにするか。事務局にその旨、連絡していただくことでよろしいか。
  - 委員長：あとで、気づいた点があれば、事務局に連絡していただくことでよろしいか。アンケートを実施するというところもあるので、いつごろまでに連絡したらよろしいか。
  - 健康づくり課長：9月16日まででよろしいか。
  - 委員長：9月半ばまでで、アンケートの内容でこれはどうか？ということやこの項目はどうかということがあれば、事務局の青木さんのほうへの連絡でよろしいか。
  - 委員長：アンケートの対象者は2000人ということだが、これに関して質問はないか。
  - 委員：先ほどの県の調査はどれくらいだったのか、年代別で分かれる返信を必ずするかたと、しないかたがいるので、母数が少なくなるが、そのあたりはどう考えているか。回収率によってデータの母数が少なくなるかと思う。
- 成人保健係長：一般的な調査だとだいたい50%、よければ60%で1200人。だいたい状況は見られるのではないかと想定している。その中で特徴を見ていく。
- 委員長：それでは、アンケートについてはこれで終わりにして、私も回答率が60%くらいになることを期待している。それでは、次に小田原市民の健康状態について事務局より説明をお願いしたい。

#### (4) 小田原市民の健康状態について

- ・ 成人保健係長、資料9に基づき、小田原市民の健康状態について説明
- ・ P 2 5. 健康寿命平成17年度に行った健康づくり検討委員会の資料から
- ・ P 3 2. 死亡率の推移、3. 年齢調整死亡率の推移
- ・ P 6 死亡の3大死因（死亡率）の推移 国の順位・小田原の順位  
 ※悪性新生物は高いが、脳血管疾患と心疾患、両方とも血圧に関係する病気でこの2つを足すと、同じ位の死亡率になってきてしまう。
- ・ P 1 2 脳血管疾患の国と県との比較  
 ※悪性新生物は国と同じように動いている。脳血管疾患だけ国や県よりも高い。国の倍近くになる。平成19年度から1位になっており、1位と2位との差が他のところと比べ、開きがある。

- ・ P 1 4 こころの問題 5. 自殺率
- ・ P 1 5 糖尿病件数の推移 国民健康保険のレセプトから  
※平成20年度に数値が下がっているのは、後期医療制度が除かれたことで75歳以上のデータが入っておらず、対象者数が減ったため。
- ・ P 1 6 特定健診の状況
- ・ P 1 7 介護保険の状況
- ・ P 1 8 障がい者 2) 精神保健福祉手帳の数(申請、手帳をもっている人)  
※1級が一番重く、2級・3級の増加が目立つ。手帳は持たないが、通院をしていて、届けをしている人の数は3)。平成19年度で法が若干改正されたため、数値に申請数が少なくなっている。
- ・ P 2 2 う歯の状況 保健センターで乳幼児健診の結果  
※1歳6ヶ月児健診と2歳児健診との開きが、平成11年度は2倍、開きが少なくなっている。
- ・ P 2 2 う歯の状況 小学生・中学生のう歯の割合
- ・ P 2 4 食育・朝食欠食の問題
- ・ P 2 6 スポーツ状況
- ・ P 2 7 4. 喫煙状況 健診や参加した教室等で喫煙率をみたもの  
※妊娠届出では同居世帯での喫煙者は高いが、ママパパ学級(母親学級)では少なくなり、出産後に高くなる傾向がある。  
5. 喫煙・禁煙状況・・・平成16年度のもの
- ・ P 2 8 中学生・高校生の喫煙頻度の推移 6、7小田原市のデータではない。  
※健康日本21での喫煙者を減らすという目標がある。
- ・ P 3 0 9、10、11、12 小中学校の不登校、長期欠席者の状況  
(学校基本調査)  
※不登校が小田原は多い、長期欠席者が多い状況がみえる。
- ・ P 3 1 特定健診受診率  
※県下でも低い。
- ・ P 3 2 がん検診 ※部位により高いものと低いものがある。

○ 委員長：小田原市の健康状態をよくお読みいただきたい。何か特に質問は。

○ 委員：脳血管疾患死亡率が、小田原市と南足柄市が高いのは、何か原因があるのか。何か調査があるのか。

○ 副委員長：本当に綿密な調査というのは、我々の間で分析して対応しているのは、食べ物。小田原は梅干あり、干物あり、かまぼこあり、練り物は以外にネック。それプラス、しょうゆをたっぷり使う習慣がある。もう一つは、特に脳梗塞の死亡率に関しては、発症後3時間以内に血栓溶解療法をやると、かなりの治療効果があるが、その施設が小田原にはない、どちらかといえば、充実していない。ということが一つのネックになるのではないかと考えている。

○ 福祉健康部長：食べ物に気をつけて。やはり食育なのか。

(6) 事務連絡

- ・ 成人保健係長、説明  
謝礼の支払いの件、封筒で口座振替書の記入用紙とその書き方（公務員以外）
- ・ 第2回会議は、2月9日（木）午後から（健康づくり課長）
- ・ 自殺予防対策に関する講演会のちらし配布、ボールペン（昨年度、啓発活動で配布したもの）

以上

## 第1回小田原市健康増進計画策定委員会次第

日時：平成23年8月24日(水)

午後1時00分から

場所：小田原市役所 3階 全員協議会室

### 1 委員の委嘱

### 2 副市長あいさつ

### 3 自己紹介

### 4 議題

(1) 小田原市健康増進計画策定委員会について

(2) 委員長及び副委員長の選出について

(3) 小田原市健康増進計画について

(4) 小田原市健康増進計画アンケートについて

(5) 小田原市民の健康状態について

(6) その他

資料1 小田原市健康増進計画策定委員会設置要綱

資料2 小田原市健康増進計画策定委員会傍聴要領

資料3 健康増進法

資料4 健康日本21

資料5 県民健康づくり運動かながわ健康プラン21(改定計画)

資料6 小田原市食育推進計画

資料7 小田原市健康増進計画(案)

資料8 小田原市健康増進計画アンケート(案)

資料9 小田原市民の健康状態



小田原市健康増進計画策定委員会委員

	氏名	区分	団体名等	
1	あいだ くにひこ 相田 邦彦	団体推薦	社団法人小田原薬剤師会	
2	あきやま みちえ 秋山 道江	団体推薦	健康おだわら普及員連絡協議会	欠
3	いちかわ せいこ 市川 昭維子	団体推薦	小田原市民生・児童委員連絡協議会	
4	いちかわ ひろゆき 市川 裕之	団体推薦	社団法人小田原歯科医師会	
5	えじま ひろし 江島 紘	団体推薦	財団法人小田原市体育協会	
6	おおた みちこ 太田 美知子	公募市民	市民	
7	おぎ ともみ 小木 朝美	団体推薦	小田原市中学校長会	
8	かなざわ けいさく 金沢 恵作	公募市民	市民	
9	きむら さだお 木村 貞雄	団体推薦	小田原市自治会総連合	
10	くぼた きよみ 窪田 清美	公募市民	市民	
11	さいとう はつよ 斎藤 初代	団体推薦	神奈川県小田原保健福祉事務所	
12	すぎざき いきお 杉崎 勲	団体推薦	小田原市老人クラブ連合会	
13	すずき てつお 鈴木 哲夫	団体推薦	小田原市社会福祉協議会	
14	すずき ひでお 鈴木 秀雄	学識経験者	関東学院大学人間環境学部人間発達学科	
15	たなか まこと 田中 誠	団体推薦	小田原市小学校長会	
16	やまもと ようこ 山本 洋子	団体推薦	小田原市食生活改善推進団体	欠
17	わけべ じゅん 分部 純	団体推薦	小田原・箱根商工会議所	
18	わたなべ きよはる 渡邊 清治	団体推薦	社団法人小田原医師会	